

堺市都市計画マスタープラン(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

番号	ご意見の要旨	市の考え方
序章 都市計画マスタープランの概要		
1	<p>この計画は次世代に繋いでいくべきであり、PDCAサイクルの確立が必要。10年間の取組を振り返ると環境モデル都市やSDGsでの具体的な位置づけが見えてこない。中心市街地活性化や泉北ニュータウン再生の姿も具現化していない。政令市としてどのような都市政策を構築していくかもっとわかりやすく市民に示すべきで関連ビジョン、計画との整合性を一覧表などで明示してほしい。特に百舌鳥古墳群世界遺産認証、環境モデル都市、SDGsとの政策整合性は不可欠。既に多くのビジョンや諸計画が示されてきたにもかかわらず、中心市街地と泉北ニュータウンの衰退が継続している。当計画の推進に当たっては、達成時期、目標、推進責任体制を明示し、その達成状況を年度ごとに市民に開示することが必要。</p>	<p>都市計画マスタープランは長期的視点に立った都市の将来像やその実現に向けての都市計画の方向性を示し、個々の都市計画の指針となるものです。</p> <p>改定にあたっては、「堺市SDGs未来都市計画」や「堺環境戦略」といった関連計画との整合を図りながら案の作成を進めており、今後、個々の都市計画の決定や都市計画事業の遂行は、将来のめざすべき都市像との関係を踏まえ、本計画に即して行われていくこととなります。</p> <p>また、この都市計画の方向性に沿って、中心市街地や泉北ニュータウンをはじめとする各エリアや関連分野において計画が策定され、その中で、各種施策や事業についての指標を設定し、進行管理が行われるものです。</p>
第1章 全体構想		
2	<p>都市の品格は文化の熟度といわれてきた。堺市では利晶の杜やフェニーチェ堺などの取組がありますが、前者は文化的視点、後者はコストという観点で問題が山積している。しかし、文化行政が欠落した都市政策は魅力あるものではないため、都市計画はインフラ構築ではないという認識のもと、堺市としての文化行政を織り込むべきである。</p>	<p>本計画(案)では、都市計画の基本姿勢を「豊かな歴史・文化を活かし、新しい価値を生み出す持続可能な自治都市・堺」としています。</p> <p>こうした考え方に基づき、めざすべき都市像にお示した「住みたい・訪れたい・働きたい魅力ある都市」の実現に向けて都市魅力の創出に取り組みます。</p>
3	<p>東西交通について、慎重な検討も必要だが、検討ばかりで実施できないでいると市内中心部が衰退し手遅れになってしまう。富山市等の運営も研究し、100%再生エネルギー由来の電力を活用したLRTを東西交通に導入できれば素晴らしい。</p>	<p>夢洲における大阪・関西万博の開催、なにわ筋線の整備などの取組が進められるなか、本市の経済発展の中心である都心エリアの魅力を高め、エリア全体の活性化につなげていく必要があります。</p> <p>そのために、民間活力を誘引・連携しながら、堺駅・堺旧港エリアや堺東エリアでの拠点形成と合わせて、エリアをつなぐ「新たな交通システム」の導入を図り、都心エリアに人の流れを呼び込むことが重要であると考えています。</p> <p>現在、「新たな交通システム」について、ICT活用や脱炭素等の視点を踏まえて検討しており、令和3年度上半期の基本方針公表に向けて取組を進めています。</p>
4	<p>堺おもてなしチケットについては、バス拡大版の入口になる北花田、新金岡、中百舌鳥、阪和線堺市、百舌鳥、上野芝、津久野、鳳等にも販売所が必要。阪堺線拡大版は阪堺線車内でも発売すべき。</p>	<p>本市では、交通事業者とともに公共交通の利用を促進し、公共交通の維持及び活性化を図るための取組を進めています。</p> <p>堺おもてなしチケットの発売場所については、今後の更なる利便性向上に向けた取組を進める際の参考とさせていただきます。</p>
5	<p>泉北高速鉄道の各停車電車の中百舌鳥折り返しは、堺東折り返しにすれば乗換え回数が減り、堺東へ行く人も増加する。</p> <p>堺東高架時に4面5線方式とし、中央3番線を泉北線折り返し用とし、両扉を開けて乗換えをするようにしてはどうか。</p>	<p>南海電気鉄道や泉北高速鉄道における車両運用やダイヤ編成等の運行計画については、鉄道事業者の経営判断に基づき行われるものと考えます。</p> <p>南海電気鉄道高野線連続立体交差事業における堺東駅の構造については、周辺の地形や鉄道事業者との協議を踏まえ、現在の2面4線方式を基本として計画しており、ご提案いただいた堺東駅の構造を4面5線方式とすることは予定しておりません。</p>

堺市都市計画マスタープラン(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

番号	ご意見の要旨	市の考え方
6	<p>美原区に大阪モノレールを近畿道に沿って延伸させてほしい。</p>	<p>大阪モノレールは、大阪都市圏の放射状鉄道網との結節により広域的な環状型鉄道ネットワークを形成するものであり、現在、2029年の開業をめざし、門真市駅～瓜生堂間の延伸事業が進められています。</p> <p>本計画(案)では、道路・交通の方針として、広域ネットワークを形成するため、多方面からのアクセス性の向上を図ることとしており、本市としては、大阪モノレールの整備動向も注視しながら、公共交通ネットワークの充実に努めます。</p>
7	<p>少子高齢社会にはコンパクトシティの実現、公共交通の充実、バリアフリー化が不可欠だが、もう少し具体的施策を示してほしい。</p> <p>堺市は4本の鉄軌道により市内外からのアクセス性に優れ、堺東駅、堺駅を中心にバス路線が充実しているが、鉄道とバスが高齢者や障がい者にとって利便性の高いかという観点での再検証が必要。</p> <p>また、公共交通の充実は交通事故、環境対策、高齢者の医療費削減等の外部効果大きく、都市政策の核として公共交通政策を位置づけるべき。</p> <p>阪堺線の再生は市民サービスを向上することができた。阪堺線の堺東駅、堺駅への乗り入れも視野に入れ、事業の在り方を論議することが必要。また、堺浜ルートへの交通についても再検証すべき。</p>	<p>都市計画マスタープランは長期的視点に立った都市の将来像やその実現に向けての都市計画の方向性を示し、個々の都市計画の指針となるものです。個々の都市計画の決定や都市計画事業の遂行は、将来のめざすべき都市像との関係を踏まえ、本計画に即して行われていくこととなります。</p> <p>本計画(案)では、道路・交通の方針として、都心における広域アクセス性の向上、東西交通の整備や他の交通との連携による交通機能の強化、各拠点との連携、都心内の回遊性向上に向けた利便性の高い公共交通ネットワークの形成と、歩行者中心の移動環境の形成を図るとともに、鉄道駅においては、交通広場における路線バスとの乗換えや乗継ぎなど接続性や各拠点へのアクセス性の向上に向けて、交通結節機能の充実に努めています。</p> <p>また、臨海都市拠点の道路・交通の方針として、臨海部と都心とをつなぐ交通ネットワークの機能を強化することとしています。</p> <p>こうした考え方に基づき、公共交通の利便性向上や利用促進等に資する公共交通ネットワークの形成や地域内公共交通の充実に取り組めます。</p>
8	<p>堺市への交流人口の増加のためにも新交通は必須。地下鉄「なにわ筋線」の開業にあわせ、大阪南港、及び住之江・住吉からの交流人口を増加させていくためにもニュートラムの延伸計画を大阪府・大阪市並びに国に働きかけてほしい。</p> <p>また、広域東西交通機関として、古市古墳群をむすぶ交通機関の整備研究も、積極的に進められたい。</p>	<p>本計画においては、めざすべき都市構造のなかで、交通ネットワークのめざすべき姿として、広域ネットワークについて、市内と国土軸や関西国際空港など各方面との移動利便性の向上に向けて、鉄軌道網、高速・幹線道路網などを活かし、広域交通ネットワークの機能強化を図ることとしています。</p> <p>こうした考え方に基づき、公共交通の利便性向上や利用促進等に資する公共交通ネットワークの形成に取り組めます。</p>
9	<p>堺市内観光の実証実験として現在、自転車のシェアバイクが各所に設置されている。公園内は法令上設置できないと聞く。</p> <p>大仙公園をはじめ、金岡公園、大浜公園など堺市の公園を魅力的でより利用しやすいようにしていくため、各公園内へのシェアバイクの設置を検討してはどうか。</p>	<p>本市では、令和2年3月より堺市シェアサイクルの実証実験を行っており、令和3年4月末時点で市内56カ所のシェアサイクル自転車の貸出・返却拠点となるポートを展開しています。</p> <p>今後も関係部局と連携し、公園内へのシェアサイクルポート設置の可能性に向けて検討します。</p>
10	<p>今後、高い確率で発生が危惧される南海、中南海沖地震によって都市に壊滅的な被害が予想されている。行政と市民全体が危機感を共有できるように、より明確な姿を示すべき。</p>	<p>本計画(案)では、めざすべき都市像でお示した「安全で安心して暮らせる都市」の実現に向けて、安全性の高い都市空間の形成を進め、ハード・ソフト両面から減災の視点に立った取組を進める考えです。</p>

堺市都市計画マスタープラン(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

番号	ご意見の要旨	市の考え方
11	<p>歴史的・文化的資源、景観資源の活用は、来訪者拡大にとって不可欠だが、京都市等に比べると対応策が不足している。多くの歴史的建造物が喪失するばかりでなく、無秩序な広告看板や景観を台無しにする建造物に対し行政として景観維持、回復に努める姿勢を示してほしい。歴史的景観の回復という観点で環濠の復活、旧市街地を横断する阪神高速道路についても通過交通の排除を前提とした交通需要管理推進により撤去を当計画に織り込んでほしい。</p>	<p>本市では大規模建築物等の届出制度や屋外広告物許可制度の実施により、良好な景観形成に取り組んでいます。特に、百舌鳥古墳群周辺地域においては、平成28年に建築物や屋外広告物に関する規制を強化しており、景観地区の認定申請制度や屋外広告物の適正化により、世界文化遺産のあるまちにふさわしい景観形成の促進を図っています。</p> <p>歴史的なまちなみが残る環濠エリア北部地区において、地域住民の堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会との協働による情報発信やイベント、町家の外観修景等への補助などを進めています。</p> <p>また、歴史的建造物の保全活用を進めるため、同エリア内に所在する鉄砲鍛冶屋敷について、令和5年度の開館を目指し整備を行っています。</p> <p>引き続き、長い歴史のなかで培われてきた文化・伝統の息づく多彩な景観を守りはぐくみ、堺らしい魅力ある都市景観をめざします。</p> <p>なお、阪神高速道路については広域ネットワークの観点から重要な役割を担っていると考えています。</p>
12	<p>南大阪都市圏の中心「堺」の格をあげていくために内容の充実した文化施設の整備は必要になってくると思われる。具体的には新博物館、美術館、新中央図書館。「百舌鳥古墳群」にも本格的なガイダンス施設が必要。これらの整備計画を落とし込んでどうか。</p>	<p>本市の都市経営の基本となる「堺市基本計画2025」において、重点戦略のひとつに「堺の特色ある歴史文化～Legacy～」を設定し、施策に「世界遺産『百舌鳥・古市古墳群』の継承と魅力の創出」を位置付け、大仙公園エリアが、絶え間なく人が訪れ交流するエリアとなることをめざしています。</p> <p>令和3年3月には、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の価値や魅力を伝えるガイダンス機能等を備えた「百舌鳥古墳群ビジターセンター」がオープンしたほか、堺市博物館は展示内容を充実させ、リニューアルオープンしました。</p> <p>また、(仮称)堺ミュージアムの整備や中央図書館の再整備についても、基本的な方向性の検討を進めています。</p> <p>ご意見を踏まえ、P77 6. 市街地・住環境整備の方針(3)-①二つ目に、下記の通り追記します。</p> <p>(追記前)</p> <p>・特に、本市のシンボルパークである大仙公園周辺は、世界遺産である百舌鳥古墳群を保全・継承し、その価値や魅力を発信するエリアとして位置づけ、古墳群と調和した景観形成や、来訪者が魅力を感じられる周辺市街地環境の整備を進めます。</p> <p>(追記後)</p> <p>・特に、本市のシンボルパークである大仙公園周辺は、世界遺産である百舌鳥古墳群を保全・継承し、その価値や魅力を発信するエリアとして位置づけ、古墳群と調和した景観形成や、来訪者が魅力を感じられる周辺市街地環境の整備を進めることとし、(仮称)堺ミュージアムの整備を検討します。</p>
13	<p>人間は自ら行動する時に力を発揮する性質があり、財政の問題もあるので、「マスタープランは重要ですが、財源は限られているし、一番の頼りは市民の自主的な行動ですから、市民ひとりひとりが自由にマスタープランを発展させ、堺市を発展させてください。」とはっきりと示すのはどうか。</p>	<p>本計画(案)では、第4節「計画の実現に向けた推進方策」において、「参加と協働による取組に関する基本的な考え方」として、市民、事業者、行政などの役割分担をお示ししています。</p> <p>これに基づき、都市計画の方針やめざすべき将来像などを共有しながら、さまざまな主体との連携・協働のもと、取組を進めたいと考えています。</p>

堺市都市計画マスタープラン(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

番号	ご意見の要旨	市の考え方
14	可能な限り数値目標を設定し、具体的施策、推進体制、計画の検証体制、目標達成にむけての責任体制を明示すべき。本計画を推進するにあたって行政の役割を明示したうえで市民協働で取り組んでいく姿を示すべき。事業推進に当たっては課題達成型のプロジェクトチームを作成し、人事ローテーションに配慮すべき。コンサルの活用も必要最低限とし、プロジェクトリーダーがしっかりと市民、住民とコミュニケーションを図るべきである。	本計画(案)では、参加と協働による推進の取組として、取組の単位に応じて役割分担や連携に関する基本的な考え方を示しています。 計画の実現に向けて、行政は地域単位での活動などの取組においては地域主体の取組を支援し、道路、公園、下水道などの都市施設については、本計画において方針を位置づけ、各事業のプログラムに即して整備の推進や維持・管理を行うなど、適切に役割分担をし、連携します。
第2章 拠点別構想		
15	大道筋の一部を芝生化してイベント等を開催してほしい。ザビエル公園や利晶の杜と連携するとさらによい。大道筋の中央を一部歩行者天国化するとよい。	本市では、大道筋の賑わい創出や活性化を図るため、沿道の住民、企業、活動団体と連携した取組を進めています。 いただいたご意見を参考に、引き続き、大道筋の魅力向上に取り組めます。
16	堺東駅、大小路筋、大道筋が衰退している。鉄砲町の大型商業施設の開業は中心市街地商業者に大きな影響を与えたため、その影響を確認し、対応策を具体的に示すべきである。	中心市街地の活性化に向けては、これまでフェニーチェ堺の整備やジョルノビルの再開発事業、Minaさかい市民交流広場の整備・活用など様々な取組を進めてきました。こうした取組などにより、地価の上昇や人口の増加がみられることから、一定の成果をあげているものと考えています。 今後、都心エリアにおいては、商業・業務などの都市機能の集積を図るとともに、多様な人が安全・快適に過ごせるウォークアブルな空間の形成を推進することなどにより、都市魅力と活力にあふれた都心の形成をめざします。
17	「堺駅・堺旧港周辺の活性化」について、落書き防止の対策を望む。護岸周辺の賑わいが増すと事業機会も増え、周辺住宅地の防犯・美化等の環境悪化も懸念されるため、周辺事業者を対象とした定期的会合のスキームが必要になってくるのではないかと。	本市では、水辺空間や都市ストックの活用、堺旧港親水護岸やその周辺整備を推進することにより、居心地の良い豊かな都市空間を創造することとしています。また、そのためには、市民、事業者等と連携し、地域が良好な環境となり、その価値が高まるよう取り組めます。
18	歴史的なまちなみ景観の保全・形成について七道から綾ノ町周辺の建屋の高さ制限の条例化の進捗はどうなっているか。	環濠エリアの景観規制については、勉強会や意向調査等を行い、地域にふさわしい景観形成に向けて取り組んでいます。
19	大阪府立大学と大阪市立大学が合併した大阪公立大学は、大学のキャンパスが点在し、堺市にあるのが工学部系の学部になることは堺市としてメリットはなく、大阪公立大学は撤退してもらい、跡地を公的機関及び民間等で発展するプランを作ってほしい。	中百舌鳥エリアには、産業支援機能を有する施設などが立地していることから、本計画(案)では、新産業やビジネスを創出し、賑わいと交流を育むイノベーション創出拠点の形成を図っていくこととしています。その中で、大阪府立大学・大阪市立大学統合後の新大学は、産学官連携による取組を進め、新事業を創出していくにあたって重要な役割を担う機関の一つと考えています。
20	中百舌鳥エリアを核とした新産業創出拠点の形成は大変重要なため、大阪公立大学は堺市から撤退してもらって、少しでも堺市の財政が良くなることを期待している。	中百舌鳥エリアには、産業支援機能を有する施設などが立地していることから、本計画(案)では、新産業やビジネスを創出し、賑わいと交流を育むイノベーション創出拠点の形成を図っていくこととしています。その中で、大阪府立大学・大阪市立大学統合後の新大学は、産学官連携による取組を進め、新事業を創出していくにあたって重要な役割を担う機関の一つと考えています。

堺市都市計画マスタープラン(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

番号	ご意見の要旨	市の考え方
21	<p>新金岡ー北花田地域には府営住宅のほか旧公団、公社の分譲団地が立ち並んでいる。地域の活性化には若い世代の流入が必須だと思うので入居者が高齢化して進まない老朽化した分譲団地の建て替えについて行政が介入し、色々な世代が居住することで世代間の助け合いができる地域になることを望む。</p>	<p>北花田駅から新金岡駅周辺では、更新時期を迎える分譲団地が立地しています。</p> <p>本市では、管理組合の担い手不足や改修、建替に関するノウハウ不足に対応するため、アドバイザー派遣、専門家相談、マンションセミナーの開催のほか、「住まいるダイヤル」等の相談窓口の情報提供などを行っています。</p> <p>また、分譲団地の再生にあたっては、大規模改修・改善による継続使用か建替えかの判断や合意形成が必要となるため、マンション再生手法、融資制度等に関する情報提供や、団地再生に向けた管理組合の合意形成の段階に応じた活動費の支援を行っています。</p> <p>今後とも、住宅団地再生の促進等により、多様な世帯が暮らす定住魅力のある住宅地形成に努めます。</p>